

報道機関各位

令和5年度 水田農業における需要に応じた 生産・販売に係るシンポジウムの開催について

本県の水田農業のあり方を考える一助とするため、県・JA中央会等で構成する茨城県農業再生協議会は6日、クラフトシビックホール土浦（土浦市民会館）で「令和5年度水田農業における需要に応じた生産・販売に係るシンポジウム」を開催いたします。

主食用米の需要が縮小する中、一時的な作付け転換に留まらない産地化を見据えた新たな取組が求められており、本シンポジウムでは、具体的な取組を関係機関に周知することとしております。

また、当日は飼料用米多収コンテスト表彰式を実施し、受賞者には賞状を授与します。
報道機関の皆様から取材を賜り、シンポジウムの内容やコンテストの受賞結果を広く周知していただきたくご案内いたします。

記

- 日時 令和6年2月6日（火） 13:30～16:30
- 場所 クラフトシビックホール土浦（土浦市民会館）小ホール（土浦市東真鍋町2-6）
- 主催 茨城県農業再生協議会
- 内容
(1) 飼料用米多収コンテスト表彰式

表彰者一覧（※当日は受賞者全員参加予定）

賞名	市町村名	氏名	収量	品種名
茨城県農業再生協議会長賞	つくば市	櫻井 博	730kg/10a	夢あおば
鹿島地域飼料用米生産 利用推進協議会長賞	つくばみらい市	直井 弘典	691kg/10a	夢あおば
協同組合日本飼料工業会 企画振興委員長賞	行方市	(株)レイクフォー代表 栗山 茂	685kg/10a	あきだわら

- 基調講演「今後の水田農業の在り方と茨城県に期待すること」
農林水産省農産局農産政策部企画課水田農業対策室 室長 梅下 幸弘 氏

(3) 具体的取組事例の紹介

- (株)百笑市場による輸出用米の取組について
(株)百笑市場 代表取締役社長 長谷川 有朋 氏
- 加工用トマトの取組と水田転作の可能性
カゴメ(株)原料調達本部 野菜原料部長 久保 克己 氏
茨城県農林水産部産地振興課 係長 阿久津 理 氏

5 参集範囲

県・市町村等行政関係者、地域再生協議会（市町村・JA）、農業関係団体等



「Thank You! いばらき農業」

農林水産部インスタグラム開設！

アカウント名「[aff_ibaraki](#)」

(Agriculture, Forestry, and Fisheries in Ibaraki)

【問合せ先】

茨城県農業再生協議会

(茨城県農林水産部産地振興課 農産・特産振興G)

担当：石川、阿久津、舟橋、鈴木

TEL：029-301-3921（直通）

(JA茨城県中央会県営農支援助センター)

担当：田中、渡辺

TEL：029-232-2115